



お子様が怪我をして帰られることがあります。

初めて幼稚園に入る子供たちは

見るもの触るもの初めてで、目の前のことに夢中で飛びつき、転んでしまうこともあります。

また、1番多いのはお友達との喧嘩です。ほとんどのお子様が同年齢での集団生活が初めてです。わがままは通りません。欲しいおもちゃはみんなが欲しい、当然取り合いになります。

また、色々なことが子ども達には大問題です。

例えば

「少しどいて欲しい」

「これはやってはいけないと注意したい」

「やめて欲しい」

「貸して欲しい」

このような事でも言葉が出ません。何と言ったら良いのか分からないので手が出てしまうのです。

ぶつ、ひっかく、噛みつく、手が出ると手加減を知らないので相手がやめないかぎり打ち合いが続いてしまうこともあります。

しかし今こう言う喧嘩は子ども達にとって、とても大切な経験です。

やられたら痛い、人の痛みを知ります。

やってしまったらお友達が泣いてしまった、心が痛い。

集団の中で自分を制御できるようになります。そして、これから多く言葉を知ると、話し合いの中で解決できるようになります。

クラスの中に乱暴な子が・・・

障害をもった子が・・・

嫌なこと、苦手な物、苦手な友達、全て大人が排除してしまったら・・・

子ども達はなんでも大人が解決してくれると学習します。自分で解決する力を奪ってしまいます。

子どもは1人1人違い、同じ子はいません。多種多様な人間の中で寛容になり、人間

性が深く育っていきます。

「いろんな子がいるんだな」

「助けてあげよう」

「力になりたい」

「友達は優しいな」

小さい時の経験だからこそ自然に認め合い、心が育っていきます。

小学校になると急激に親元を離れて、学校生活が親御さんからは見えにくくなっていきます。

自分の力で解決しなければいけないことが増え、集団生活も徐々に子ども達中心になっていきます。

幼児期に何もなく平穏に過ぎてしまったら・・・小学校、中学校、高校と徐々に複雑になる問題に対応できるのかと不安になります。

幼児期の喧嘩は明日に遺恨が残りません。

喧嘩をして、失敗をして成長します。

失敗をあまり突かず、お子様の話を聞いてあげてください。お子様とたくさん会話をしてください。

